



撮影：天野敬久氏（連合静岡 元事務局長）

連合新潟

第275号 2014.1.15
日本労働組合総連合会
新潟県連合会
〒950-8558 新潟市中央区新光町6-2
TEL 025(281)7555
FAX 025(281)7556
発行人 齋藤敏明
題字 宮崎風穂
定価 1部5円

購読料は会費に含む



「働くことを軸とする
安心社会」の道を
切り拓こう

連合新潟会長
齋藤敏明

あけましておめでとうございます。

連合新潟は、昨年十一月の定期大会で、運動の柱に「働くことを軸とする安心社会」の実現、「参加」と「拡大」を据えました。「働くことを軸とする安心社会」の実現は、多くの人々の参加と協力なしにはなし得ません。運動への「参加」と組織の「拡大」は、組織活動の基本であり、当たり前のことですが、少しずつ疎かになってはいないのか、もう一度見つめ直すことが必要です。そこで「連合評価委員会報告」^{（*）}での指摘をもふまえ、労働運動をすすめてまいりたいと存じます。

今年も「組織拡大」を連合新潟の最大の課題と位置付けます。ピーク時の三分の二にまで減少した連合新潟の組合員数は、運動の柱に据えた組織拡大の取り組みにより、一昨年を底に反転しました。これは、連合結成三〇周年となる二〇二〇年までに実現する「一〇〇〇万連合」の取り組みを構成組織、地域協議会をはじめ、多くの皆さんの協力を得て進めてきたうれしい結果です。

連合新潟と労働金庫、総合生協などをつくる新潟県労働者福祉協議会では、地域組織の整備が整い、地域活動の拠点としての「ライフサポートセンター」、寄添い型・伴走型の生活困窮者支援事業である「パーソナルサポートセンター」をはじめ、事業の拡大が進むにつれ、私たち連合が進めてきた「地域に顔の見える運動」が一步・二歩と前進したといえます。労協協運動を通じ、労働運動における「社会運動」に取り組んでいきたいと存じます。これもまた、「働くことを軸とする安心社会」の道を切り拓く取り組みです。

二〇一四年が皆様にとって健やかで実り多い年となりますことを祈念し、年頭のあいさついたします。

*1 中坊公平弁護士を座長とする外部委員が、①連合の運動全般に対する評価・提言、②連合の運動方針等に対する提言、③労働組合の社会的評価等についてのコメントを一年半にわたる勢力的な活動の後、二〇一三年九月に連合への提言としてまとめた報告

2014年度 主要活動予定			
1月	労協協新春名刺交換会（6日） 第1回地協代表者会議（18日） 北陸ブロック女性会議（19～20日）（女性委員会） 第3回執行委員会（22日）	7月	第54回地方委員会（1日） 第9回執行委員会（16日） 第4回地協代表者会議（26日）
	労働相談ダイヤル担当者研修会（1日） 第53回地方委員会（7日） 第4回執行委員会（19日）	8月	平和行動 in 広島（4～6日） 平和行動 in 長崎（7～9日） 第10回執行委員会（22日）
2月	第2回地協代表者会議（1日） にいがたユニオン第20回定期大会（1日） 春季生活闘争新潟県中央総決起集会（5日） 連合国際女性デー第20回にいがた集会（15日）（女性委員会） 第5回執行委員会（拡大闘争委員会）（19日）	9月	第17回構成組織・第21回地協女性代表者会議（女性委員会） 平和行動 in 根室（13～15日） 第23回新潟県勤労者駅伝大会 第11回執行委員会（26日）
	2014春季生活闘争・中小総決起集会（5日） 第6回執行委員会（16日） 第85回新潟県中央メーデー（26日）		第5回地協代表者会議（4日） 他県連合会女性委員会との交流（女性委員会） 第12回執行委員会（8日） 女性労働問題懇談会（女性委員会） 連合北陸ブロック青年組織代表者・担当者会議
3月	第7回執行委員会（21日） 青年委員会・女性委員会合同学習会 第3回地協代表者会議（24日）	10月	第24回年次大会（5日） 第26回女性委員会総会 第26回青年委員会総会
4月	第24回女性集会（7日）（女性委員会） 第8回執行委員会（24日） 女と男フェスティバル2013（21日）（女性委員会） 平和行動 in 沖縄（23～25日）		
5月		11月	
6月			土曜労働相談会（毎月第2土曜日開催）

第53回地方委員会

と き 2月7日（金） 13：30～16:30
ところ 新潟市・ガレソンホール

労働相談ダイヤル担当者学習会

と き 2月1日（土） 10：30～15：30
ところ 新潟市・勤労福祉会館2階

小千谷地域における
病院統合再編に関わる要請実施

連合新潟・ヘルスケア労協・新潟県厚生連労組・小千谷総合病院従業員組合で構成する、小千谷地域病院労働組合協議会は二月一日、小千谷市と財団法人小千谷総合病院に対し、小千谷総合病院と厚生連魚沼病院の統合再編に関わる課題について要請を行いました。

二〇一六年一〇月の新病院開院に向けて、地域医療の安定的な医療サービスの提供はもとより、労働条件整備と雇用の安定と確保を申し入れました。

新潟県に対しても一二月二四日に要請しました。

小千谷市への申し入れ

2013年末一時金 連合新潟第2回集計結果 (12月19日現在)

＜年末一時金 回答・妥結集計結果＞			
年間（夏冬）妥結の年末分と年末（今季）回答妥結組合で昨年との比較が可能な組合の集計結果 （額集計：123組合（20,980人） 月数集計：125組合（24,301人）			
◎組合員1人平均（加重平均）	額：474,003円	月数：2.01ヶ月	
昨年	額：467,195円	月数：1.98ヶ月	
	（昨年との差 額：+6,808円、月数：+0.03ヶ月）		
◎組合平均（単純平均）	額：365,796円	月数：1.80ヶ月	
昨年	額：355,229円	月数：1.77ヶ月	
	（昨年との差 額：+10,567円、月数：+0.03ヶ月）		

☆調査対象組合403組合（72,327人）中、270組合（60,006人）が回答妥結した（年間妥結の年末分含む）。また、今季要求提出を行ったのは108組合（16,713人）で、今季回答妥結報告があったのは、98組合（15,858人）となっている。（今季妥結報告は、年間要求の今季回答妥結を含む）

＜年末一時金要求集計結果（今季交渉分のみ）＞

【額集計】				
	組合数	人数	2013年	2012年同時期
組合員1人平均 (加重平均)	80	11,607	459,752	437,446
組合平均 (単純平均)			355,378	340,705
【月数集計】				
	組合数	人数	2013年	2012年同時期
組合員1人平均 (加重平均)	66	11,711	2.04	1.97
組合平均 (単純平均)			1.78	1.73

2014 春季生活闘争 スタート！

二〇一四春季生活闘争は、上分などを、賃上げとして従来からの主張である「デフレから脱却し、経済の好循環をつくり出す」ことを実現するため、「底上げ・底支え」「格差是正」に向けた取り組みとして位置づけ、正規・非正規、組織・未組織にかかわらず、すべての働く者の処遇改善の実現をめざして、公正で安心・安定的な社会の実現に向けて取り組みこととしています。

連合本部は、春季生活闘争の基本的な考え方として、景気回復と物価上昇の局面にあることを踏まえ、経済成長と所得向上を同時に推し進めていく必要があります。すべての構成組織は、月例賃金にこだわる闘いを進め、定昇・賃金カーブ維持相当分を確保し、過年度物価上昇分はもとより、生産性向



当面の課題について意見交換

民主党と 定期協議

民主党県連と連合新潟の定期協議（第一八回）が、二月一四日新潟東映ホテルで開催されました。菊田代表より、「国会運営は、安倍自公政権による暴挙が繰り返されている。民主党は暴走する巨大与党へのチェック機能を今後も強めて行かなければならない。また、県内六つの総支部長も内定し、統一地方選に向けて体制準備はできた」とのあいさつがありました。齋藤会長からは、「働く

ことを軸とする安心社会の実現」に向けての協力要請と、統一地方選については、自民党多数の県政の場を変えるには、「空白区はつくりたくない」、「不戦敗はしない取り組みをする」など、諸課題を含めたあいさつがありました。

その後、報告事項と当面の課題について協議し、意見交換を行いました。午後から開催された民主党政治スクールは、連合顧問弁護士、五百蔵洋一氏が講師として「違反のない選挙をどう闘うか」と題し講演があり、連合新潟から二人の参加がありました。

連合新潟への最近の相談事例から

組合結成編

柏崎地協

今回紹介するのは、ライフサポートセンター（LSC）と連合新潟が連携して組合結成となった事例です。

きっかけは、開所されたばかりの柏崎LSCのチラシを見た、市内にある製造業（従業員一三人）に勤務する人が、長時間労働・残業代不払いの相談を寄せたことからでした。

LSCコーディネーターが話をうかがうと、労働組合について話聞きたいとのことでしたので、同じ職場の仲間にも声をかけてもらい改めて話を

する機会を作ることになりました。後日開催した労働組合の説明会には、こちらの予想を上回る一四人が参加し、組合結成を前向きに考えていることから、不当労働行為対策として

にいがたユニオンに加盟し、該当する構成組織と連携して動くことになりました。

組合結成に向けてのスケジュール・課題整理・加入者拡大の取り組み方法などについて、話し合いを水面下で進めました。六九人の従業員から賛同を得られたことから結成大会を開き、役員体制・組合規約・当面の会社への要求事項を承認された後、組合結成通知書と組合要求書を会社側に提出し、ようやく会社と対等に話せる環境をスタートすることができました。

社長が出張で不在になることが多く時間を要しましたが、団体交渉で不払いの残業代は分割ですが支払われることとなりました。

今回、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解・協力が得られず、ひとりで行動した結果、あきらめてしまうケースが実情です。

権利を当たり前に要求できない環境は労働者にとつては不幸です。

職場に集団的労使関係が構築されていることは重要だと考えます。

今年、組合結成に至ったのは、大きく三つのポイントだったと感じます。

①、ライフサポートセンターが開所し、従来からの連合のフリーダイヤル（0120-154-052）に加え、相談窓口が増えたことで地域の人たちの声がより届きやすくなったこと。

②、LSC・地協・連合新潟・構成組織が早い段階から連絡を取り合い、協力して進められたこと。

③、相談者ひとりだけでなく、複数の仲間が職場を良くしたいという思いを持って協力したこと。

様々な労働相談が寄せられますが、周囲の理解